



イノチオ診断室からの

病害虫情報

2020年
6月号



キクを中心にベと病が増加してきています！！
今後の発生にご注意ください。



キク



キャベツ(セル苗)



キュウリ

感染作物	アブラナ科、ウリ科、花き類 など
症状	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 葉表に淡黄色の斑点を形成する ▶ 病斑裏に灰白色霜状のカビを生ずる など
多発条件	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 過去の発病圃場（土壌・培地中の残渣に菌が生存） ▶ 施設内の多湿・結露 ▶ 気温15℃前後での降雨 ▶ 排水不良、日陰で風通しの悪い圃場
対策	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 被害株の圃場外への除去 ▶ 発生の多い圃場での連作を避ける ▶ 薬剤散布の実施 (ユニフォーム粒剤・ベトファイター顆粒水和剤・フォリオゴールド・ピシロックフロアブルなど) ▶ 施設内の換気（サイド・天窗の開放） ▶ 循環扇の利用

※農薬はラベルを確認後
ご使用ください。

気象庁 1カ月予報

気温：高い 降水量：平年並み
日照時間：平年並みか少ない



5月は特にキクでベと病の発生が多く見られました。

ベと病は雨が増える時期に多い病気です。梅雨入りが近づくこれからの季節はさらに注意が必要です。今後も予防に努めていきましょう！

